

2015年経済学部第4問

4 次の問いに答えよ。

(1) n 個の実数 a_1, a_2, \dots, a_n に対して

$$\left(\sum_{k=1}^n a_k \right)^2 \leq n \sum_{k=1}^n a_k^2$$

が成立することを示せ。また、等号が成立するための a_1, a_2, \dots, a_n についての必要十分条件を求めよ。(2) 偏りをもつサイコロを 2 回投げるとき、同じ目が続けて出る確率は $\frac{1}{6}$ よりも大きいことを示せ。ただし、サイコロが偏りをもつとは、1 から 6 の目が同様に確からしく出ないことをいう。(1) $\sum_{k=1}^n a_k = l$ とおく。各 k ($k=1, 2, \dots, n$) に対して。 $a_k = \frac{l}{n} + e_k$ とおく。ここで e_k は定数である。このとき、 $\sum_{k=1}^n a_k = l$ より、 $\sum_{k=1}^n e_k = 0 \quad \cdots \textcircled{1}$ が成り立つ

$$\begin{aligned} n \sum_{k=1}^n a_k^2 &= n \sum_{k=1}^n \left(\frac{l}{n} + e_k \right)^2 \\ &= n \left(\frac{l^2}{n^2} + \frac{l}{n} \sum_{k=1}^n e_k + \sum_{k=1}^n e_k^2 \right) \\ &= l^2 + n \sum_{k=1}^n e_k^2 \quad (\because \textcircled{1} \text{ より}) \\ &\geq l^2 \end{aligned}$$

$\therefore \sum_{k=1}^n a_k^2 > \frac{1}{6}$
これは、同じ目が続けて出る確率が
 $\frac{1}{6}$ より大きいことを表している ■

すなわち、 $\left(\sum_{k=1}^n a_k \right)^2 \leq n \sum_{k=1}^n a_k^2$ が成り立つ。等号成立は、 $\sum_{k=1}^n e_k^2 = 0 \iff e_1 = e_2 = \dots = e_n = 0$ $\iff a_1 = a_2 = \dots = a_n =$ ■(2) さいころの k の目が出す確率を a_k で表す。 $(k=1, 2, \dots, 6)$ このとき、 $\sum_{k=1}^6 a_k = 1$ となるから (1) の不等式を使う。 $l^2 \leq 6 \cdot \sum_{k=1}^6 a_k^2$ よって、 $\sum_{k=1}^6 a_k^2 \geq \frac{1}{6}$ このサイコロは偏りをもつので (1) の等号成立条件をみたさない